

「大勢に情報提供」「個人情報流出も」

## SNS利点と弊害紹介 札幌

小樽商科大非常勤講師  
で、インターネット教育に

LINE (ライン)  
Facebook (フェイスブック)  
Instagram (インスタグラム)  
Twitter (ツイッター)



札幌

詳しい高橋大洋さん(51)が札幌市中央区の紀伊国屋書店札幌本店で講演し、会員制交流サイト(SNS)活用の利点と注意点を解説した。

7日に行われた。高橋さんは家電大手のシャープが、商品の便利な使い方や、利用者からの問い合わせへの返事をツイッターで丁寧に発信し、約45万人の購読者を抱えている例を紹介し「感性次第では多くの人に情報を伝えられる」とSNSの利点と注意点について解説する高橋さん

Sの有効性を説明した。

一方で、個人情報の流出や長時間の利用などSNSの弊害も指摘。「安全性確保のために、SNSごとに違うパスワードを使って」「おすすめの時間は起床後すぐ。出勤や外出の前に利用すると、短時間でやめやすい」などとアドバイスした。(吉田隆久)

# 資金も人も減らされて

## あえぐ地方大学

### 不足分は自腹で補い

第一節

### 幻の「改革」の果てに 科学技術立国

白い砂浜に無数の黒い小さな粒が散らばる。2月3日、鹿児島県、奄美大島の海岸を丹念に観察していた鹿児島大産学部の西隆一郎教授(56)は海岸環境工学の目に留まったのは、約1カ月前に東シナ海で沈没したイランのタンカーから漏れ出し漂着した油だ。このままでは日本の漁業は全滅する。「なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

#### 現場に行きたいが

資金不足が響くのは非常時ばかりではない。同僚の宇野誠一准教授(49)は環境汚染学は「日ごと」、学生を現場調査に連れて行くこともできない。現場を踏んでこそ伝えられるノウハウがあるのに」と嘆く。年



宇野誠一准教授が油を分析する。鹿児島大産学部の宇野誠一准教授が油を分析する。鹿児島大産学部の宇野誠一准教授が油を分析する。鹿児島大産学部の宇野誠一准教授が油を分析する。

### 老朽化で屋根崩落

「ドーン」。日曜早朝のキャンパスに大きな音が響いた。昨年12月、筑波大(茨城県つくば市)の二つの建物の階部分をつなぐ連絡通路で、長さ約18メートル、重さ約25トンの屋根が崩落した。同日によると、建物はいずれも1975年建設で、以前から大学側は文科科学省に改修予算を要望していた。建築基準法に基づき2015年の定期点検では大

きな異常はなかったという。平日には多くの学生や教員が行き来する通路だけに、施設企画課の担当者は一けが人がなくて本当によかったと振り返る。東京、霞が関では、翌年度の政府予算案編成が詰りを迎えている。崩落からまもなく、文科省文教施設企画部の長川武司・計画課長補佐は、筑波大から送られた資料を手に財務省に向

かい、施設整備予算の増額を求めた。しかし、財務省の担当者は現場写真に驚きつつも「答えた」。古く困っているのは分かっている。でもお金がない。

国立大の設備の老朽化が深刻だ。70年代に整備された大学が多く、築25年以上で要改修の建物は全体の3割にあたる874万平方メートルにもなる。給水管や排水管などキャンパスの主要配管は、77.7%（延べ約3000キロ）が法定耐用年数の15年を超えている。しか

し、長川さんは「15年では改修できない。30年過ぎたものから予算要求しているのが現状」と明かす。今年度、各大学から要求があった施設整備の総額は約3000億円に上ったが、当初予算案に盛り込まれたのは約1600億円に過ぎない。長川さんは言う。「1400億〜1500億円は必要だが、老朽化を目の当たりにしながら予算がないという。我々もつらい」

「大学に冷たい国」で現場はあえいでいる。も国立大と同じ水準で削られた。OECDの集計によると、14年の国内総生産(GDP)に占める教育機関への公的支出の割合は、日本の比較可能な34か国中最低の3.2%。このうち大学など高等教育に対する支出の割合は34%で、OECD平均(70%)の約半分だった。

や砂に付着した油を迅速に分析するには不可欠だったからだ。宇野さんは「流行の分野でなければ、実験も調査も思うようにできないのか。真綿で首を絞められそうだった」とため息をつく。今回、西さんらと油着の調査を始めるにあたり、企業などから化学物質の測定を請け負うなどしてためた「虎の子」の30万円のうち20万円を、長らく故障したままだった分析装置の修理費に充てた。回収した員

相当の額だ。鹿児島大では164億円から158億円(17年度)に減り、人件費や施設維持費を直撃した。事態の打開に向け同大は16年、鹿児島商工会議所に入会。地元経済界の要望を探索ととも、学内金獲得に力を入れた。寄付金の体育館や図書館の命名権を買ってくれるスポンサーの募集も始めた。島秀典副学長は「お金がないなら自ら集める以外ない」と話す。一方、行く末をどうも占う。このままでは将来、やりくりができません。遅かれ早かれ、近隣大との統合論議が動き出すのではないかと

た。企業などからの受託研究収入が伸びるなど外部資金も獲得しているが、こうした資金は期限や使い道が決まっている場合が多く、安定的な人件費には使えない。若手教員の採用に力を入れ、自己財源強化のため、15年に基金を創設して寄付を募り始めたものの、今年2月までに寄せられたのは約4300万円。運営費交付金の減額分を埋めるにはほど遠い。管理職手当の削減などにも取り組むが、三村信男学長は「教員の計画的な削減に踏み込まざるを得ない」という。

英城大の三村学長は「一部の大学に公的支出が集中する仕組みになっているが、それ以外の大学にもそれぞれ強い分野や重要な分野がある。(資金配分を)もっと広げたい」と、幅広い大学で切磋琢磨する裾野の広がりが重要ではないかと指摘する。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

「このままでは日本の漁業は全滅する」。なぜ情報が出てこないんだ」。インターネット上では事故直後から心配やいら立ちの声があふれていた。地元の専門家として、いち早く調査に駆けつけたかったが、研究室の教員は西さんただ一人。講義や学内の会議を代わってもらえるあてはなく、もどかしさが募った。

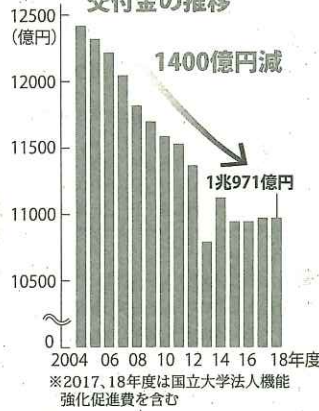
(次ページに続く)

(前ページから続く)

国立大学の運営費交付金配分額 (2016年度)



国立大学の運営費交付金の推移



交付金

施設

- 国立大の施設の3割が要改修
- 主要配管の約8割は耐用年数(15年)超過



崩落した筑波大の連絡通路の屋根=大場あい撮影

人



47 機関 退職教員補充できず

90 機関 (大学共同利用機関法人4を含む)

- |     |    |          |
|-----|----|----------|
| 82位 | 23 | 北見工業大    |
| 83位 | 22 | 政策研究大学院大 |
| 84位 | 18 | 総合研究大学院大 |
| 85位 | 14 | 鹿屋体育大    |
| 86位 | 13 | 小樽商科大    |

0 200 400 600 800 1000 (億円)

グラフィック・平山義孝